

烏帽子会会報

2023年秋号 Vol.75



研究奨励賞選考報告



FU-OMSA賞状・タイパー授与



烏帽子会賞受賞者

福岡大学医学部同窓会

目 次

・ 医学部・病院首脳人事	3
・ 巻頭言 「幼年期の終わり」	林 英之 3
・ 第 42 回烏帽子会総会報告	藤 岡 伸 助 5
・ 研究奨励賞	
令和 5 年度 研究奨励賞選考報告	坂 田 俊 文 7
令和 5 年度 研究奨励賞受賞者名簿	8
・ 令和 5 年度 受賞論文抄録	
Differentiation of human adipose tissue-derived mesenchymal stromal cells into steroidogenic cells by adenovirus-mediated overexpression of NR5A1 and implantation into adrenal insufficient mice (論文)	青 柳 力 夫 8
Rate of Return to Work After Periacetabular Osteotomy and Its Influencing Factors (論文)	藤 田 潤 9
Induction of potassium channel regulator KCNE4 in a submandibular lymph node metastasis model (論文)	眞 野 亮 介 9
Risk factors for developing dyskinesia among Parkinson's disease patients with wearing-off: J-FIRST (論文)	三 嶋 崇 靖 10
Impact of Results of TTF-1 Immunostaining on Efficacy of Platinum-Doublet Chemotherapy in Japanese Patients with Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer (論文)	中 尾 明 10
経カテーテルの大動脈弁の術後変化に対する multi-imaging modality を用いた検討 (計画)	加 藤 悠 太 11
・ 令和 5 年度研究奨励賞募集要項	11
・ 総会報告 (受賞者)	12
・ FU-OMSA 賞状・タイバー授与	13
・ 烏帽子会賞状授与	16
・ 令和 4 年度 評議員会／在外研修援助金募集要項	17
・ 在外研修援助金募集要項	18
・ 支部だより	
筑後支部だより	宿 里 芳 孝 19
支部総会出席報告	小 玉 正 太 20
・ 第 31 回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会のご報告	北 島 研 21
・ 学生会員支援報告	
新入生歓迎会	小 玉 正 太 22
令和 5 年度 M4CBT 激励会の報告	北 島 研 23
令和 5 年度 M1 白衣授与式	安 元 佐 和 25
・ キャンパス便り	
水泳愛好会ご報告	瀬 口 絢 士 27
・ 訃報	
大塩善幸先生のお別れの会	朝 倉 敏 明 28
・ 医学部同窓会諸表	30
・ 医局長・医長名簿	32
・ 教育職員人事／編集後記	33

同窓会ホームページ共通 ID、パスワード

ID : eboshikai
パスワード : fukudai1 (数字)

パニックマニュアル専用パスワード

panic



ホームページ用二次元
バーコード

大学首脳人事

医学部・病院首脳人事

(関係分抜粋・いずれも12月1日)

学 長	永 田 潔 文	(理学部)
副 学 長	則 松 彰 文	(人文学部 教学担当)
副 学 長	永 星 浩 一	(商学部 財政・学生・情報担当)
副 学 長	山 下 恭 弘	(法学部 研究・社会連携・就職・ガバナンス担当)
副 学 長	吉 満 研 吾	(医学部 医学・医療・健康担当)
医学部長	小 玉 正 太	(13 回生)
大学院研究科長	高 松 泰	
福岡大学病院長	三 浦 伸一郎	(11 回生)
福岡大学筑紫病院長	河 村 彰	(17 回生)
福岡大学西新病院長	山 本 卓 明	

巻 頭 言

「幼年期の終わり」

鳥帽子会 副会長 林

英 之 (1 回生 福岡大学医学部総合医学研究センター教授 眼科)



小玉正太鳥帽子会会長から、医学部長としての職務多忙のため、医学部開設当初から福岡大学医学部の一角にいた最後の一人(林)として、何か書き残

してもらいたいというご要望を受けましたので、僭越ながら書面を汚させていただきます。

1972年(昭和47年)、18歳で福岡大学の門をくぐりました。渡された学生証にはMM720100という学籍番号が記されていました。それ以後は、所謂ノンポリ学生として茫洋とした学生生活を過ごしました。運動は好きではないし、人付き合いも同様でしたのでスポーツ同好会などには属さず、好きな本を読んで過ごし、試験は合格する程度に勉強していました。同級生に朔啓二郎という変わった姓を持つ人物がいるのに気づいたのは、彼が常に成績1位で特待生に選ばれていたからです。それだけでしたら拍手して終わりですが、友人を呼んで毎回自宅で祝賀のガーデンパーティーを開いたという噂を聞いて、彼は目標を決めて多大な努力をし、そして勝ち得た成果を知らしめる人であって、どうも自分とはベクトルが

違うようなので近づかないほうが良いかと感じていました。しかし、当然ながら、あちら様から私が認識されることもなく時間が過ぎました。彼が最終学年まで特待生で過ごし、卒業生総代になったことなどは、実は後になって彼の口からきいて初めて知った次第です。

私は2年生の時に、誰もなりたがらないクラス委員を無理矢理押し付けられて出席した全学集会で、左派学生と運動部系の学生の衝突騒乱に巻き込まれてロックダウンされた講堂で過ごし、3年生では法定伝染病の腸チフスに罹患して旧こども病院跡地の国立感染症病院に2カ月ほど入院し、6年生では面白そうなので受験したECFMGに合格したのはいいが当時の福大医学部が医学部のWHO認定（国際認証）手続きを忘れていたため合格取り消しになり、卒業直後には単身で行った卒業旅行の帰路に搭乗した大韓航空機が当時のソ連領に迷い入ってソ連空軍機に打たれて胴体着陸し、自分も重症なのに止血やら酸素投与、人工呼吸、心臓マッサージを無免許で行う羽目になりました。以上まとめると、朔氏は自分の運命を切り開くべく努力をして令名を得、私はいつも巻き込まれて七転八倒して生き延びてきたのです。

卒業後、彼は第2内科、私は眼科に入局し、私は何となく卒業生で最初に助教授になり、彼は見事に同窓生始まって以来の臨床科の主任教授になり多くの称賛を浴びました。私は、当然知られることもなく彼の祝いの席にも出ていません。彼は心臓病・動脈硬化の研究で業績を上げ教室を隆盛に導き、私は、誰も信じませんが、実はなんでも適当にこなせますので恩師に渡された仕事を器用貧乏に処理してきまし

た。

二人の岐路が初めて交わったのは2013年でした。彼はそれまで8年間4回にわたって病院長や医学部長選に出馬し続けましたが、彼に欠けた点があるとは思えませんが、福大卒業生初の役職者への壁は厚いようで、思いが成就することはありませんでした。これが最後と思うので手伝ってほしいと、人づてに頼まれました。その人は毒薬かもしれんが、あれ（林）に任せるしかないなどと言っていたようです、失礼な。そして福大卒業生初の学部長が誕生しました。私は何をしたわけではありません。ただ時に、コーヒーに砂糖でなく塩を加えると玄妙な味が生まれることがあるといわれますが、それと同じ混合が生じたのではないかと思います。ただ一つ、常に前を、上を見据えてきた彼の視線が、後ろを、下を、つまり同窓の後輩を見る時間が増え、かつ優しくなったことは間違いのないと思います。それに対して同窓生が明るく胸を張る姿が時に見られるようになったと思います。その先には福岡大学卒業生始まって以来の福岡大学学長就任が待っていましたが、それは延長線上にあっただけの物語と思います。

朔君と今は呼びますが、2023年11月末日で福岡大学を去り、私は2024年3月をもって70歳まで過ごした大学に別れを告げます。福岡大学医学部卒業生は朔君をもって半世紀ののちに新しい時代を切り開きました。これで同窓生の幼年期は終わりを告げて、のちに続く人々は青年期に新たな地平を求めていただき実り豊かな100周年（2034年）を迎えていただきたいのです。幼年期の終わりを感しながら、さらなる大学の飛躍を私たち二人は共に祈っているのです。

総会報告

第42回烏帽子会総会報告

第42回烏帽子会総会理事 藤岡伸助(26回生)



この度、第42回烏帽子会総会を開催させていただくことができましたので、ご報告させていただきます。総会前日まで嵐のような天気でしたが、当日朝には風もやみ、会を開催する頃には晴れ間も見られるほど天気が回復しておりました。

今回の総会では例年通り、総会に引き続き、研究奨励賞(医師・歯科医師)、FU-OMSAの表彰(医学部生10名)を行いました。また3年間コロナ感染拡大により続いていた活動自粛が緩和され、今年の大会で優秀な成績を残した水泳愛好会3名に対する烏帽子会表彰も行いました。引き続き、隣の部屋に会場を移し、福岡大学同窓会有信会理事長 川畑懿子様、福岡大学医学部長 小玉正太先生、福岡大学学長 朔啓二郎先生よりご挨拶を賜りました。川畑様からは、医学部創立50周年と医学部出身初の朔学長就任についてお喜びのご挨拶をいただきました。小玉医学部長からは、久々の完全対面形式での総会開催へのお喜びの言葉に加え、朔学長への新本館新設に対する目録の授与をいただきました。朔学長からは、我々事務局への労いの声をいただき、また「躍進する福岡大学」というスローガンを掲げ、職員一丸となり改革を進めておられ、その進捗状況についてお

話いただきました。

今回は4年ぶりとなる懇親会も開催することができ、乾杯後に食事をとりながらの歓談を行い、また途中で26回生の講演も行いました。消化器外科の塩飽洋生先生から「内視鏡治療のこれまで、そして、これから」という演題名で、そして私からは、「パーキンソン病の治療は、薬剤と外科治療だけではございません」という演題名で、それぞれの専門分野の最新知見についてお話をさせていただきました。

今回の総会のテーマは「再会」とさせていただいておりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ウェブ会議の普及や遠隔診療など離れていてもスムーズにコミュニケーションができる、便利な世の中になってきている中、面と向かってだからこそ実現できること、味わえる感動があると考え、多くの方々に会への現地参加を呼びかけさせていただきました。その結果、まだコロナ感染が落ち着いた状況にもかかわらず、100名以上の方々にご参加いただき、再会の喜びを分かち合うことができました。

今回の総会が滞りなく開催できましたのも、同窓会の先生方の温かいご支援のおかげと思っています。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。今後もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



26回生集合写真



川畑 懿子 有信会 理事長 挨拶



懇親会 雰囲気



烏帽子会より新病院建設お祝いの授与



朔啓 二郎 学長 挨拶



26 回生 塩飽 洋生 先生 講演



26 回生 藤岡 伸助 先生 講演



27 回生 への 幹事 引き継ぎ



26 回生の先生方ありがとうございました。/ 27 回生の先生方よろしくお願いします。



27 回生 ご挨拶



26 回生 ご挨拶 と 一本

研究奨励賞

令和5年度研究奨励賞選考報告

選考委員長 坂田 俊文 (10回生)



本年度は15件の応募があり、基礎研究2編、臨床研究13編、インパクトファクターは1.8から6.6の範囲で、内容も質の高い論文が多く集まりました。23名の審査員の採点合計などをふまえ、さまざまな視点で検討した結果、最終的に6名が選出されました。基礎研究2編、臨床研究4編で、インパクトファクターのトップ5が含まれていました。論文の価値をインパクトファクターだけで評価する事はできませんが、今回の審査では内容の魅力がそのままインパクトファクターに

表われていたと感じました。この中で最優秀賞を獲得した論文は基礎研究で、多くの審査員の支持を得ました。受賞者の皆様が今後も研究活動を継続され、素晴らしい業績を残されることを期待しております。

さて、これから研究奨励賞に応募される研究者にお伝えしておきたいのは、論文要旨の大切さです。この論文要旨は論文冒頭のサマリーとは異なり、専門領域外の審査員に研究の価値をアピールする大切な文書です。結果よりも研究の意義について明解かつ魅力的に紹介していただくと、審査員の専門性によるバイアスを軽減し、望ましい審査を行うことができます。

来年も皆様からの応募をお待ちしております。



左から加藤先生、中尾先生、三嶋先生、小玉会長、眞野先生、藤田先生、青柳先生

● 令和5年度 研究奨励賞受賞者名簿 ●

福岡大学医学部 再生・移植医学/ 腎泌尿器外科学 青柳力夫 (正会員 36回生)	Differentiation of human adipose tissue-derived mesenchymal stromal cells into steroidogenic cells by adenovirus-mediated overexpression of NR5A1 and implantation into adrenal insufficient mice (論文)
福岡大学病院 整形外科 大学院生 藤田潤 (準会員)	Rate of Return to Work After Periacetabular Osteotomy and Its Influencing Factors (論文)
福岡大学病院 歯科口腔外科 福大助手 眞野亮介 (準会員)	Induction of potassium channel regulator KCNE4 in a submandibular lymph node metastasis model (論文)
福岡大学病院 脳神経内科 福大准教授 三嶋崇靖 (正会員 31回生)	Risk factors for developing dyskinesia among Parkinson's disease patients with wearing-off: J-FIRST (論文)
福岡大学病院 呼吸器内科 福大助教 中尾明 (準会員)	Impact of Results of TTF-1 Immunostaining on Efficacy of Platinum-Doublet Chemotherapy in Japanese Patients with Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer (論文)
福岡大学病院 循環器内科 福大講師 加藤悠太 (正会員 33回生)	経カテーテル的大動脈弁の術後変化に対する multi-imaging modality を用いた検討 (計画)

令和5年度 受賞論文抄録

Differentiation of human adipose tissue-derived mesenchymal stromal cells into steroidogenic cells by adenovirus-mediated overexpression of NR5A1 and implantation into adrenal insufficient mice (論文)

福岡大学医学部 再生・移植医学 / 腎泌尿器外科学 福大大学院生 青柳力夫 (36回生)



【背景・目的】

原発性副腎不全に対する細胞治療は、生理的なステロイド補充療法として、開発が期待されている。今回我々は、細胞移植治療におけるヒト脂肪組織由来間葉系細胞の細胞ソースとしての有用性を、副腎不全モデルマウスを用いて検討した。

【方法】

ヒト脂肪組織由来間葉系細胞に、副腎の発生・分化及びステロイド合成のマスターレギュレーターである NR5A1 を遺伝子導入し、ステロイド産生細胞に分化させた。In vitro で、ACTH と angiotensin II の応答性

を確認した。In vivo では、両側副腎を切除した副腎不全モデルマウスに、NR5A1 誘導性ステロイド産生細胞を腎被膜下に移植し、移植によるステロイド補充効果を検討した。

【結果】

NR5A1 により分化誘導されたステロイド産生細胞は、副腎と性腺ステロイドを産生し、ACTH と angiotensin II に対する応答性を示した。また、NR5A1 誘導性ステロイド産生細胞の移植により、副腎不全モデルマウスの生存期間が有意に延長した。

【結論】

ヒト脂肪組織由来間葉系細胞は、原発性副腎不全における細胞治療の材料として期待される。

Rate of Return to Work After Periacetabular Osteotomy and Its Influencing Factors (論文)

福岡大学病院 整形外科 藤 田 潤 (準会員)



【背景】

発育性股関節形成不全(以下DDH)による股関節症状は活動に制限をきたし得る。寛骨臼周囲骨切術(以下PAO)はDDHの治療の選択肢の1つであり、多くの良好な成績が報告されている。しかしPAO後の復職についての報

告は乏しい限り認めない。

【目的】

PAO後の復職状況を調査し、それに影響を与える因子について評価する事。

【対象と方法】

2015年12月から2020年6月に当院でPAOを行っ

た83例85股を対象とした。

術後1年の時点での復職の可否を調査し、術前後の臨床評価項目、職種について比較検討した。職種は専門性、身体的負荷の2つの観点で分類した。

【結果】

術後1年の時点で何らかの職種に復職できたのは68例70股で全体の82.4%であった。術前と同じ職種に戻れたのは63例65股であった。術後1年の時点で股関節の症状が原因で復職できなかったのは8例8股であった。復職できた症例とできなかった症例の間で臨床評価項目、職種に差は認めなかった。

【結論】

PAO後1年の時点での復職率は82.4%であった。

Induction of potassium channel regulator KCNE4 in a submandibular lymph node metastasis model (論文)

福岡大学病院 歯科口腔外科 福大助手 眞野 亮 介 (準会員)



口腔癌患者におけるリンパ節転移の有無は予後と相関する。所属リンパ節では、転移成立前に転移前ニッチが形成される。我々は舌メラノーマの顎下リンパ節(SLN)転移モデルマウスを確立し、転移成立前SLNにおける遺伝子発現の初期変動解析を行った。

C57BL/6マウスの舌に同種同系由来のメラノーマ細胞株B16-F10を移植し、移植後3日目に採取したSLNより抽出したtotal RNAの網羅的解析を行った。採取したSLNで発現上昇を認めたカリウムチャンネル調節因子Kcne4に着目し、免疫組織染色でリンパ節内での発現誘導や局在について解析したところ、KCNE4は転移成

立前SLNで増加しており、リンパ管マーカーPodoplanin陽性領域での共発現が観察された。さらに腫瘍抑制性に働く電位依存性カリウムチャンネルKCNQ1も共発現していることを確認した。また、初代培養リンパ管内皮細胞を用いて、siRNAまたは発現ベクターによるKCNE4発現調整が転移関連ケモカインや細胞接着因子の発現量に及ぼす影響をqRT-PCRにて解析した。KCNE4過剰発現リンパ管内皮細胞では、ケモカインCcl17やマトリクスメタロプロテアーゼMmp3の発現が増加し、接着因子であるFn1は減少する一方、KCNE4発現抑制によりMmp3は減少し、Fn1は増加した。舌メラノーマにおいて転移成立前の初期段階でKCNE4がSLNのリンパ管内皮に発現誘導し、転移前ニッチが形成されていることが示唆された。

Risk factors for developing dyskinesia among Parkinson's disease patients with wearing-off: J-FIRST (論文)

福岡大学病院 脳神経内科 福大准教授 三嶋 崇 靖 (31 回生)



【目的】 パーキンソン病 (PD) 患者において、レボドパによる長期治療中にジスキネジアは高頻度でみられ、QOLに影響を及ぼす。ウェアリングオフ現象を呈するPD患者において、ジスキネジア発現のリスク因子を検討した研究は、ほとんどない。今回、ウェアリングオフ現象を呈するPD患者におけるジスキネジア発現のリスク因子とその影響について検討した。

【方法】ウェアリングオフ現象を呈する日本人PD患者を対象とした1年間の観察研究 (J-FIRST) において、ジスキネジア発現のリスク因子とその影響について検討した。リスク因子は、試験開始時にジスキネジアを認めない患者を対象に評価した。PDの非運動症状の評価尺

度であるMDS-UPDRS Part IおよびPDのQOLの質問票スコアであるPDQ-8を用い、ジスキネジア発現前からの変化に対するジスキネジアの影響について評価した。

【結果】 女性およびドパミンアゴニスト、COMT阻害薬またはゾニサミドの投与は、ジスキネジア発現の独立したリスク因子であった。MDS-UPDRS Part IおよびPDQ-8スコアは、ジスキネジア発現後に有意に増加した。

【結論】 ウェアリングオフ現象を呈するPD患者において、女性、ドパミンアゴニスト、COMT阻害薬、ゾニサミド投与は1年以内のジスキネジア発現のリスク因子である。また、ジスキネジア発現により非運動症状およびQOLが悪化することが明らかになった。

Impact of Results of TTF-1 Immunostaining on Efficacy of Platinum-Doublet Chemotherapy in Japanese Patients with Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer (論文)

福岡大学病院 呼吸器内科 福大助教 中尾 明 (準会員)



現在の非扁平上皮非小細胞肺癌 (Non-Sq-NSCLC) の初回治療は免疫チェックポイント阻害薬と細胞障害性抗がん剤の併用が主流となったが、現在5つ以上の治療レジメンが既に本邦で承認されており、その使い分けについてのコンセンサスは形成されていない。

中でもNon-Sq-NSCLCにおけるKey DrugとされるPemetrexed (PEM) は、近年病理組織検体のTTF-1免疫染色の結果によりその効果が異なる可能性が報告されている。しかし本邦からの報告はなく、欧米人とアジア人では肺癌の遺伝子変異の頻度が大きく異なることが知られていることから、本邦の症例でも同様の傾向が示されるか検証が必要と考えた。

当科でこの12年間にプラチナ併用化学療法を実施したNon-Sq-NSCLC症例のうちTTF-1免疫染色が実施された145症例について、①TTF-1が陽性か陰性か、②抗がん剤がPEMかそれ以外か、で4群に分け解析を行った。

結果、全生存期間においてTTF-1陽性症例ではPEMを含むレジメンを使用することでTTF-1陰性症例に比べ有意に延長する (32.1ヶ月 vs 10.6ヶ月, $p < 0.001$) ことが示された。一方でTTF-1陰性症例は薬剤によらず全てのレジメンで治療効果が低い傾向も示された。

結論として、アジア人症例でもTTF-1免疫染色の結果によりPEMの効果予測ができることを確認した。一方で、今後予後不良なTTF-1陰性症例への最適な治療戦略を検討して行く必要性が確認された。

経カテーテル的大動脈弁の術後変化に対する multi-imaging modality を用いた検討 (計画)

福岡大学病院 循環器内科 福大講師 加藤 悠太 (33 回生)



福岡大学病院 循環器内科の加藤 悠太と申します。この度は、このような栄誉ある賞を頂き、心より御礼申し上げます。

当院では 2021 年より大動脈弁狭窄症に対してのカテーテル治療である、経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVR) を開始しました。TAVR ではバルーン拡張型人工弁 (BEV) と自己拡張型人工弁 (SEV) のいずれかを用いて治療します。

先行研究の報告では、TAVR 後 1 年経過すると、BEV は留置後縮小傾向、SEV は拡張傾向に変化するとされていますが、亜急性期に CT で人工弁の変化を報告した研究は乏しいです。TAVR 弁の縮小・拡張は、弁口面積・人工弁機能、さらには人工弁耐久性と関与するため、人工弁留置後の変化に関連する因子を特定することは意義のあることと考えています。

本研究を通じて、実臨床に貢献出来るよう今後も研究を深めていきたいと思っております。

令和6年度 福岡大学医学部同窓会烏帽子会

研究奨励賞募集要項

対 象：正会員及び準会員で、40 才未満の者または学部卒業後 10 年未満の者
(本会会費完納を条件とする)

研究課題：医学に関するものであれば自由 (医学に関する研究計画又は研究論文)

申請方法：所定の申請書による (所定欄に支部長推薦を要す)

提出先：〒 814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学医学部同窓会事務局
TEL 092-865-6353 (直通) 代表 092-801-1011 / 内線 3032 Fax 092-865-9484

締 切：令和6年5月7日(火) 提出は一人一件とする

賞状・賞金：奨励賞 (優秀論文賞を含む) 5 件以内

発表及び表彰：令和6年7月6日(土) 予定、第43回同窓会総会席上 必ず出席する事

そ の 他：①論文受賞者は抄録を提出すること

計画受賞者は1年後研究成果報告書を提出する事

②申請書は同窓会事務局に請求又は同窓会ホームページからダウンロードの事

③申請書はワープロで記載し、過去の研究業績 (原著、著書、症例報告、学会発表)、
研究の独創性・重要性を十分に書く事

※準会員の方もご応募ください。

最優秀賞

福岡大学医学部 再生・移植医学

青柳力夫先生 36回生

Chikao Aoyagi, M.D.

Differentiation of human adipose tissue-derived mesenchymal stromal cells into steroidogenic cells by adenovirus-mediated overexpression of NR5A1 and implantation into adrenal insufficient mice

令和5年度烏帽子会研究奨励賞



優秀賞

福岡大学医学部 整形外科

藤田潤先生 準会員

Jun Fujita, M.D.

Rate of Return to Work After Periarticular Osteotomy and Its Influencing Factors

令和5年度烏帽子会研究奨励賞



優秀賞

福岡大学医学部 歯科口腔外科学

眞野亮介先生 準会員

Ryosuke Mano, DDS.

Induction of potassium channel regulator KCNE4 in a submandibular lymph node metastasis model

令和5年度烏帽子会研究奨励賞



優秀賞

福岡大学医学部 脳神経内科学

三嶋崇靖先生 31回生

Takayasu Mishima, M.D.

Risk factors for developing dyskinesia among Parkinson's disease patients with wearing-off:J-FIRST

令和5年度烏帽子会研究奨励賞



優秀賞

福岡大学医学部 呼吸器内科学

中尾明先生 準会員

Akira Nakao, M.D.

Impact of Results of TTF-1 Immunostaining on Efficacy of Platinum-Doublet Chemotherapy in Japanese Patients with Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer

令和5年度烏帽子会研究奨励賞



奨励賞

福岡大学医学部 心臓・血管内科学

加藤悠太先生 33回生

Yuta Kato, M.D.

経カテーテル的大動脈弁の術後変化に対する multi-imaging modality を用いた検討

令和5年度烏帽子会研究奨励賞





整形外科学 山本卓明主任教授と



歯科口腔外科学 近藤誠二主任教授と



再生・移植医学 小玉正太主任教授と



FU-OMSA賞状・タイバー授与

令和5年7月2日総会にて賞状と名前が印刷されたタイバーの授与を行いました。



大山 真実



佐野 倫





永松 亨規



小金丸 陽生



松尾 菜央



野中 蒼



奥 悠人



大西 淳司



渡辺 起子



奥野 祐司

烏帽子会賞賞状授与

烏帽子会賞賞状授与

コロナ感染症のため3年間中止されていた、九州山口医科学生体育大会、西日本医科学生総合体育大会代替試合が開催され、水泳愛好会の方々が優秀な成績を収められましたので、令和5年7月2日総会において賞状と賞金を授与を行いました。

3年生	瀬口 絢士	第62回九州山口医科学生体育大会 男子50M バタフライ 100M 自由形優勝
2年生	野崎 亜衣	第62回九州山口医科学生体育大会 女子50M 平泳ぎ 2位 100M 平泳ぎ優勝
2年生	靄 直哉	第62回九州山口医科学生体育大会 男子100M 個人メドレー 優勝
3年生	瀬口 絢士	西日本医科学生総合体育大会代替試合 男子50M バタフライ 優勝
2年生	靄 直哉	西日本医科学生総合体育大会代替試合 男子50M 背泳ぎ 3位



野崎 亜衣



靄 直哉



瀬口絢士さん欠席のため代わりに、同じ水泳愛好会の松本崇佑さん、田原秀暁さんが受けてくれました。水泳愛好会現顧問の三浦伸一郎教授、前水泳愛好会顧問の朔啓二郎教授と一緒に記念撮影

令和4年度評議員会

令和4年度評議員会

- ◆日時 令和5年4月22日16時
- ◆場所 TKP ガーデンシティ
PREMIUM 天神スカイホール
- ◆出席 理事監事20名、評議員24名（支部長5名）、
支部長3名、委任状60名

◇経過報告

- ◆黙祷 亡くなった先生方を悼み黙祷
- ◆第117回医師国家試験状況説明
- ◆令和4年度研究奨励賞受賞者

◇議題1. 令和4年度収入支出決算見込 承認

◇議題2. 令和4年度事業報告及び 令和5年度事業計画(案)について 承認

①会報の発行

会報 例年2回春と秋に発行。送付先は正会員、特別会員、準会員、学生会員とその保護者、各医局、他学同窓会、医学部、病院、本学の役職者。入学者分冊数増加だが、予備に50冊あるため実質50冊の増加。

②総会の開催

令和4年度WEB併用開催。会場費、WEB配信設備、案内費等。令和5年度予算は対面開催の予定だがWEB併用開催の可能性があり令和4年度と同額。

③支部活動援助

令和4年度講師招聘援助金の申請なし。支部活動援助金は支部徴収件数分援助。令和5年度予算は令和4年度と同額。

④研究奨励賞

令和4年度最優秀賞1名、優秀賞4名、奨励賞1名、激励賞9名授与。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑤在外研修援助金

令和4年度2名援助あり。令和5年度予算は令和4年

度と同額。

⑥学生会員支援

令和4年度M1Tシャツ作成、M4CBT特別講義実施、FU-OMSA Reception dinner実施。令和5年度予算は令和4年度と同額。

※コロナ前はM1、M4、M6の激励会(飲食)を開催していたが、M1は激励会、M4はCBTへの支援、M6は国試応援袋等の支援へ変更となった。

⑦白衣贈与

令和4年度M1白衣、M5白衣作成。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑧国試対策費

令和4年度国試直前セミナー、国試応援袋実施。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑨支部祝儀贈与

令和4年度実施なし。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑩学生行事援助

令和4年度実施なし。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑪学会寄付

令和4年度6件の申請あり。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑫慶弔贈与

令和4年度2名の新教授誕生、卒業生1名の弔事あり。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑬グッズ作製

令和4年度作成なし。令和5年度予算計上なし。

⑭会員名簿

令和4年度名簿第12号の調査費用。令和5年度名簿作成。

⑮パニックマニュアルの発行

令和4年度パニックマニュアル薬剤版ホームページ設置費用。令和5年度計上なし。

⑯奨学金緊急貸与

令和4年度申請なし。令和5年度予算計上なし。

⑰縁結び

令和4年度縁結び案内申込書、ドメイン料。令和5年度予算は令和4年度と同額

⑱保険コンサルティング紹介

令和4年度事務諸経費なし。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑲ホームページ

令和4年度WEBサイトサーバー費。令和5年度予算は令和4年度と同額。

⑳大学院生援助

令和4年度6援助。令和5年度予算は令和4年度と同額。

㉑学生医学教育貢献者賞

令和4年度3名授与。令和5年度予算は令和4年度と同額。

◇議題3. 令和5年度収入支出予算(案) 承認

◇議題4. 縁結び規約について 承認

◇議題5. 決算評議員会省略の件 承認

◇議題6. 福岡大学医学部同窓会烏帽子会第42回総会

◇議題7. 新教授紹介・ご挨拶

福岡大学医学部 総合診療学教授 鍋島 茂樹 (13回生)

福岡大学医学部 生命医療倫理学教授 今泉 聡 (25回生)

福岡大学医学部同窓会烏帽子会
在外研修援助金 募集要項

長期研修

対 象：正会員、準会員(本会会費完納を条件とする)で医学の研究または医療技術の習得のため、3ヶ月以上外国に留学する者

申請方法：所定の申請書により留学出発3ヶ月前までに提出の事

提出先：〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

福岡大学医学部同窓会事務局

T E L 092-865-6353(直通) 代表 092-801-1011 / 内線 3032

F A X 092-865-9484

援助金：1件20万円を限度とし、年間5件以内

発表：本人に文書にて連絡

その他：①受給者は帰国後その成果を同窓会会報に発表する事

②申請書は同窓会事務局に請求又は烏帽子会ホームページからダウンロードの事

③研修中に生じた問題については同窓会は関与しない

※なお在外研究援助金をうけ留学している者は、出来る限り学生会員海外研修助成事業に賛同し、渡航研修する受け入れ側施設担当者として、協力する事が望ましい。

支部だより

筑後支部便り

筑後支部長 宿 里 芳 孝 (10 回生 医療法人宿正会 宿里医院院長)

5 類感染症になったとはいえ未だコロナ禍ではありますが、令和 5 年 6 月 17 日(土曜日)に私が筑後支部長になって初めての対面での支部総会を開催することができました。3 年ぶりの対面での支部総会なので、参加者は少ないのではないかと危惧していましたが、多くの会員に参加していただきました。そして、講演会には、前支部長の浅倉敏明先生(8 回生 浅倉整形外科医院理事長)が熱望されていた福岡大学筑紫病院整形外科教授で、元病院長の柴田陽三先生(4 回生)をお招きすることができました。それはそれはわかりやすく、私にも肩関節腱板断裂を診察だけで診断できるかも?と思えるご講演で、在学中の学生はなんと恵まれていることかと思えました(ただ私の場合、船津(旧姓 永光)春美先生(10 回生 船津医院院長)から、あれだけ出席せずによく進級できたよねと褒められたくらいで……)。そして、懇親会では柴田教授と同級の蓮尾春高先生(小郡聖和記念病院院長)や松行眞門先生(まつゆき小児科医院理事長)および福大整形外科同門の会員の先生方の嬉しそうな、懐かしそうな様子を見ることので

きました。対面での総会開催ができて本当に良かったと思えました。そして、久しぶりにお会いした先輩や後輩の元気な姿が、とても嬉しく、心地よい気持ちにさせてくれました。

またご多忙の中、小玉正太烏帽子会会長(13 回生 医学部長)にも来ていただきました。実は、支部役員会で小玉会長に支部総会出席のご案内は私がすると言ったことを失念し、支部総会開催日の 4 日前に出席依頼をするといった不手際があったにもかかわらず快く(慌てて??)出席していただき、新病院、校舎建設等につき説明していただきました。誠にありがとうございました。

ところで、令和 4 年度まで対面での支部総会を開催することができずにいたにもかかわらず、本部年会費支部徴収は 100%が維持され、さらに支部年会費も沢山の会員から納入していただいておりますことを深謝いたしますとともに心より御礼申し上げます。

最後に、亡くなられました甲斐保先生(2 回生)、木附久雄先生(3 回生)、大塩善幸先生(4 回生)のご冥福をお祈りいたします。



支部総会出席報告

烏帽子会会長 小玉 正太 (13 回生 福岡大学医学部 再生・移植医学教授 医学部長)

佐世保支部

令和5年10月16日月曜日、ホテルオークラハウステンボスにて佐世保支部総会が開催され、小玉が出席いたしました。大変お世話になった前支部長の久保次郎先生を偲んでお話をいたしました。当日は奥

様も5名程参加されていました。

福岡大学の現在、未来についても少しお話をさせていただき、その後支部の先生方と交流させていただきました。



懇親会風景



二人は同級生(小玉会長、楠本先生)

佐賀支部

令和5年11月4日土曜日、ホテルニューオータニ佐賀にて、佐賀支部総会及び懇親会が開催され、小玉、武末副会長、佐賀支部長と同級生の川浪理事3名で出席いたしました。

私が、以前移転前の佐賀県立好生館(現佐賀県医療センター好生館)に勤務していた事がありその時の思い出話や、地域医療の問題、佐賀県内の勤務医の会員動向を本部事務局と連携することなど再確認しました。



集合写真

全国会報告

第31回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会のご報告

烏帽子会理事 北 島 研 (21 回生)

新型コロナウイルス感染症拡大のため延期になっていた全国会が約3年半ぶり、令和5年11月25日土曜日17時より東京都千代田区の帝国ホテルで開催されました。全国29私立大学より125名の参加がありました。総会では、主幹校である獨協医科大学同窓会会長の千木良 真保先生のご挨拶の後、獨協学園の理事長で、日本医師会副会長の猪口 雄二先生が2024年からの医療体制をテーマに基調講演されました。続いて東部会と西部会からの報告、事前に集められた同窓会活動に関するアンケート結果の報告がそれぞれあり、次回主幹校の北里大学医学部同窓会会長の永岡 隆先生からのご挨拶の後、総会は終了しました。

続いて懇親会会場へ移動し、獨協医大の千木良会長のピアノ伴奏で、校歌斉唱の後、乾杯、宴席が始まりました。食事を頂きながら、各同窓会が紹介され、登壇された先生方より同窓会の様々な現状を聞くことができました。創立80年の東京慈恵会医科大学、100年の東邦大学、150年の日本医科大学と伝統のある同窓会や、川崎医科大学では平成15年卒の理事が参加したり、聖マリアンナ医科大学では同窓会賞受賞歴のある卒業したばかりの初期研修医

も会場に呼んだり、若手医師の同窓会への積極的な呼びかけも工夫をされている同窓会もありました。広報活動については、東京慈恵会医科大学が毎月新聞形式、自治医科大学が年4回会報形式で行っており、昭和大学は過去の卒業アルバムや卒業生名簿の電子化に取り組んでおられました。

烏帽子会からは、会長の小玉 正太先生(13回生)と理事の川浪 大治先生(21回生)が翌日の医学部推薦入試の面接で先に帰られたため、副会長の林 英之先生(1回生)が名誉会長の朔 啓二郎先生(1回生)をご紹介され、学長として新病院建設など福岡大学の現状をご説明頂きました。副会長の竹下 盛重先生(3回生)と武末 佳子先生(11回生)、和田 秀一先生(13回生)、理事の北島 研(21回生)も共に登壇致しました(写真)。

最後には、来年度主幹校である北里大学医学部同窓会より令和6年11月30日に神奈川県箱根町で全国会が開催されることが発表され、懇親会が終了となりました。

今後とも、全国会、西部会を私立医科大学同窓会が抱える問題や情報を共有し解決の糸口となる場として活用していきたいと考えております。



学生会員支援報告

新入生歓迎会

福岡大学医学部 再生・移植医学教授 小玉 正 太 (13 回生)

本年5月11日、ホテルニューオータニ博多において新入生歓迎会を行いました。コロナ感染症拡大防止のため中止しておりましたが、3年ぶりの開催となりました。当日は、クラス担任、事務課職員の方々、OBOGにご参加いただき、総勢142名による

祝宴となりました。初めに、学部長であり、同窓会会長でもある小玉より同窓会についての説明があり、その後担任、事務課の方々、学生もステージに上がり全員参加の会を計画いたしました。



会長お話



クラス主担任安永晋一郎教授乾杯



1年生自己紹介



田中事務部長お話



副担任、事務課ご一緒



校 歌

有意義な6年間でありますように

令和5年度 M4CBT 激励会の報告

福岡大学病院 卒後臨床研修センター 北 島 研 (21 回生)

2023 年 7 月 27 日、医学部 RI 講義棟第 2 中講堂にて開催した烏帽子会主催 M4CBT 激励会のご報告です。前日には前期の各科試験も終了し、当日朝からは予備校 TECOM 講師による第 1 回 CBT 対策特別講義が行われていました。講義終了後、CBT 激励会までの間、M6 で経験する「マッチング」とは何か、卒後臨床研修センターより初期研修の仕組みを紹介しました。

M4 在籍 118 名中、100 名 (85%) の参加により、16 時半からは烏帽子会主催の M4 CBT 激励会開始となりました。同窓会長の小玉正太医学部長からご挨拶の後、M5 学生 4 名の講演を頂きました。M5 学生の互選にて佐野 倫さん、野中 蒼さん、佐藤 大介さん、津曲 勇輝さんの順で、それぞれの経験を基に CBT 対策や勉強法、受験に向けた生活の仕方などを語ってくれました。

続いて副主担任の 1 班 薬理学 岩本 隆宏先生、班担任の 3 班 総合診療学 鍋島 茂樹先生、7 班 眼科 原田 一宏先生、8 班 産婦人科 倉員 正光先生、9 班 手術部 重松 研二先生から直接激励の言葉を頂き、当日参加が叶わなかった担任の先生からは予め頂いていたメッセージを紹介しました。

最後に M4 の福溝 和馬さんから学生代表としてお礼の挨拶を頂き、今年度の CBT 激励会は終了となりました。

終了後には烏帽子会提供の「吉塚うなぎ屋 うな重」を班担任の先生オリジナルのメッセージカードを添えて、先生から班員ひとりひとりに声をかけながら手渡して頂きました。

M4 学生は 2 月からの診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ:CC)を行うために、「知識」の修得状況进行评估する CBT の他に、「技能」や「態度」进行评估する臨床実習前客観的臨床能力試験 (Pre-CC OSCE) に合格し、student doctor の証を保持しなくてはなりません。福岡大学では 11 月 2 日に Pre-CC OSCE、11 月 21 日に CBT が実施されます。

CBT はコンピュータ画面にランダム提示される、320 問の多選択肢択一形式問題です。CBT の問題難易度を考慮した IRT (項目反応理論) による標準スコア 396 が、全国统一の到達基準とされています。本学の試験合格基準よりやや低めですが、その分、試験問題も難化する可能性もあり、各自例年と同様にしっかりと CBT 対策が求められます。

また Pre-CC OSCE では受験者が一定時間ごとに小試験室を回り、患者さんとの面接や、診察の仕方や手技などの課題を、各試験室に配置されている医療系大学間共用試験実施評価機構から認定された評価者の前で次々に実施していきます。平成 17 年からの CBT に続き、今年からは Pre-CC OSCE も公的化され、試験の妥当性・公平性・透明性が確保されるようになり、医学生の医行為が可能となった臨床実習カリキュラムにも対応できるようになりました。

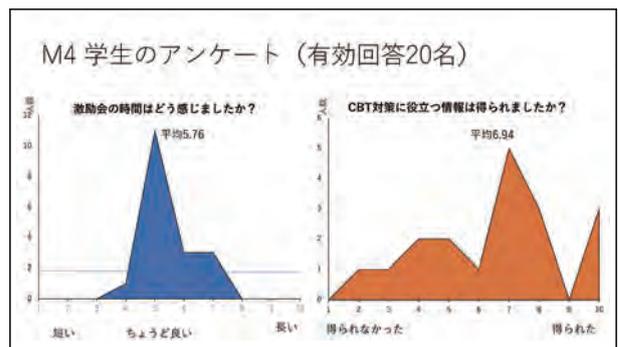
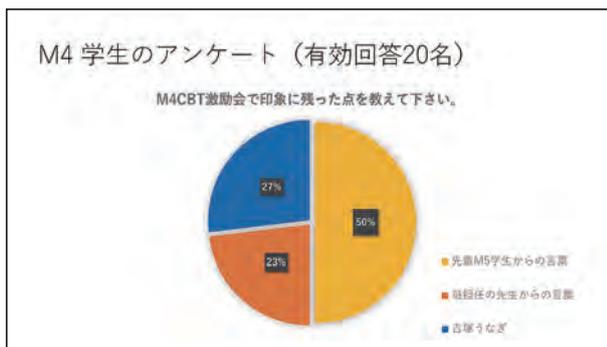
今年度の M4CBT 激励会では、1 学年上の先輩 M5 学生と各班担任の先生から密度の濃い、そして即効性のあるメッセージを M4 学生に届けることができたと感じています。コロナ禍前までは、ホテルの宴会形式で行っており、現行の講義室で行う M4CBT 激励会は昨年に続き、2 回目となりました。M4 学生からの激励会終了後アンケートでは、約半数が先輩 M5 学生の言葉が印象に残り、約 30 分の激励会開催時間満足度はちょうど良いと感じ、CBT に役立つ情報を得られたと回答していました。CBT 成績の向上に烏帽子会が少しでも力添えすることができるよう、これからも CBT 激励会の役割を熟慮して参りたいと思います。

末筆ではございますが、ご参加の M4 学生の皆様、ご発表頂いた M5 学生の皆様、お忙しい中、激励のメッセージや直接会場へ足をお運び頂いた班担任の先生、臨床実習中の M5 学生に激励会参加を快くご許し頂いた診療科の先生方、会場運営を行って頂いた医学部事務課の皆様、そしてお弁当の提供を頂いた烏帽子会の皆様に、心より感謝申し上げます。



班担任の先生からのメッセージカード

班 担任	担当講座	メッセージ
1 若本 隆宏先生	薬理学	雰囲気の良いクラスなので、CBT全合格で間違いないでしょう！期待しています！
2 長谷川 傑先生	消化器外科	臨床医への階段の第一歩です。膨大な知識の勉強は大変ですが、医師として患者さんを診察するのに直結することですからやりがいを持ってしっかりと頑張ってください。病棟で待っていますね！
3 鍋島 茂樹先生	総合診療学	学問はうらぎらない。信じて前へ進め！
4 藤岡 伸助先生	脳神経内科	If you give up now, the game will be over.
5 竹本 光一郎先生	脳神経外科	全員合格目指して頑張ってください！BSLで待ってます！
6 川村 朋子先生	眼科	一致団結して進級して下さい。
7 原田 一宏先生	眼科	みんなで進級を目指しましょう。
8 倉貞 正光先生	産婦人科	眼界を作るな。可能性は無敵だ！
9 重松 研二先生	麻酔科(手術部)	全員合格して臨床実習へ進もう！
10 喜多 深介先生	歯科口腔外科	自分が導き出した解答に自信を持とう。



- ### M4 学生のアンケート
- M4 CBT激励会に対する意見 (自由記述)
- 5年生の先輩方からのアドバイスは参考になった。鳥帽子会の皆さんが私たちに期待をしてくださってくださっていることがよくわかったので、より一層CBT・OSCEを合格して、医師と働くために前進したいと思った。うなぎもとても美味しく、前期試験が終わった直後で少し疲れていたけど、元気になった。
 - 前に長い特別講義があったこともあり、今回の短時間型の激励会は適切だったと思います。夏休みの帰省を考えている人も多いと思いますので、今後もこのような形で執り行う方がよいのではないかと考えます。
 - 開催時期は適切でした。先輩方のお話が為になりました。
 - 先輩からの話で、有益な情報を得ることができてよかった。
 - CBTの質問会を開いて欲しかった。
 - CBTの勉強法などの共有は、M3の学年時であってもいいと感じた。
 - M2、M3の学年でも集まる会を開いて欲しかった。



令和5年度 M1 白衣授与式

福岡大学医学部 医学教育推進講座 教授 安元 佐和 (7回生)

同窓会の皆様には、平素より学生への多くのご支援をいただき、誠にありがとうございます。

医学科1年生は例年9月に早期臨床体験として看護実習とクリニカル・クラークシップを体験する病棟実習を行っており、実習前に同窓会からのケーシー白衣授与式を行ってまいりました。2020年からは新型コロナの影響で病棟実習ができない状況が続き、白衣授与式も年度末の講義の中で行っておりましたが、今年度は3年ぶりに1年生の病棟実習を再開し、白衣授与式も実施いたしました。

9月4日の実習開始前に、臨床大講堂において同窓生教授より臨床実習用の白衣が1年生代表10名に贈呈されました。全員でいただいたケーシー白衣に袖を通し、期待と緊張の面持ちで看護実習・クリニカル・クラークシップ体験がスタートしました。看護実習では医療の現場の体験実習を通して患者心理を理解すること、医療者プロフェッショナリズムを学ぶ

ことを目標としています。課題として多職種インタビューを実施し、チーム医療について学びました。5年生のStudent Dr.に一日同行するクリニカル・クラークシップ体験では、臨床実習中の先輩の姿から自己の将来像を描き、医学生としての自覚を持つことを期待しております。患者さんと面談し、その前後で脈拍測定を行うことを課題としており、事前に5年生から指導を受けて練習し、実際に患者さんの脈拍測定を実施し、1年生から患者さんに触れる貴重な体験をさせていただきました。最終日にはグループワークを行い、実習をふり返ってこれからの課題や目標を発表しました。贈呈いただいたケーシー白衣は今後、2年生での模擬患者さんとの医療面接、3年生での地域医療体験実習、4年生での診断学実習・OSCEなどで統一して大切に着用します。同窓会の皆様からの医学教育への暖かいご支援に感謝申し上げます。





同窓会の皆様へ

この度は白衣を授与して頂きありがとうございました。先日、私達は頂いた白衣を着用して、看護実習とクリニカルクラークシップを体験しました。今回の実習で医療現場の大変さを実感し、また看護師の皆さんの患者さんに寄り添い、献身的に仕事をする姿に感動を覚えました。そして白衣を着て実際の医療現場に立つことで、医師になるという自覚が強く湧きました。またまだ未熟な私達ですが、これからの6年間で499のことろを学び、成長していきたいと思っております。患者さんやスタッフに求められる医師になれるよう精進して参りますので、これからもご支援のほど宜しくお願い致します。

永井 蓮菜

キャンパス便り

水泳愛好会ご報告

福岡大学医学部水泳愛好会 瀬口 絢士 (M3)

我々水泳愛好会は月水金の週に三回、本学のプールで活動しています。現在愛好会には男子 24 名、女子 24 名が所属しており、皆練習に熱心に取り組んでいます。練習では初級・中級・上級と分かれて練習メニューをこなしていましたが泳力を考慮して超上級なるコースをつくり更に個人個人に合った練習ができるように工夫しています。

今年行われた第 62 回九州山口医科学生体育大会では、瀬口が男子 50M バタフライ、100M 自由形優勝、鶴が男子 100M 個人メドレー優勝。また、西日本医科学生総合体育大会代替試合では、瀬口が男子 50M バタフライを大会新記録で優勝、鶴が男子 50M 背泳ぎ 3 位という結果を残す事ができました。さらに 8 月に京都で四年ぶりに開催となった第

75 回西日本医科学生総合大会では瀬口が 50m 自由形、100m 自由形で優勝。50m 自由形は大会新記録での優勝となりました。

水泳は個人競技ですが、皆で声を掛け合い励ましあったり、頑張っている姿を身近でみる事により一人でこなすのは難しい量の練習を諦めることなくこなせているのだと思います。春休みには合宿があり普段より厳しい練習を行っています。そのような練習を一緒に乗り切ることにより学年を問わず団結力を高められたのではないかと思います。

男子女子ともに今まで以上によい成績を残せるように頑張っていますので、今後とも我々水泳愛好会を宜しくお願いいたします。



訃 報

正会員	木 附 久 雄 先生	令和5年 6月 26日	ご逝去 (3回生)
正会員	吉 村 隆 宏 先生	令和5年 7月 16日	ご逝去 (4回生)
正会員	下永吉 耕 一 先生	令和3年 2月 19日	ご逝去 (7回生)
正会員	政 所 節 夫 先生	令和5年 9月 29日	ご逝去 (7回生)
正会員	吉 永 陽 一 郎 先生	令和5年 10月 31日	ご逝去 (9回生)
正会員	今 里 栄 二 郎 先生	令和3年 3月 1日	ご逝去 (12回生)
正会員	中 川 道 元 先生	令和4年 7月 22日	ご逝去 (34回生)

大塩善幸先生のお別れ会

筑後支部／浅倉整形外科医院 浅 倉 敏 明 (8回生)

令和4年10月30日にご逝去された大塩先生(4回生)のお別れ会をラグビー部OB会の有志一同で令和5年4月15日(土)に福岡市内の福新楼で開催しました。発起人は内田敏文先生(4回生、内田クリニック理事長)と私です。総勢24名が参列し、大塩さんの奥様加州子先生(9回生)と3人のご子息も参加されました。会の開催に先立ち大塩さんへの黙祷を捧げ、その後発起人代表の挨拶を内田先輩から、またご遺族を代表して奥様よりお言葉を頂戴しました。大塩さんを偲びながら献杯し、皆で大いに酒を酌み交わし昔話に花を咲かせました。会の途中ボックス、フォワードそれぞれ3人の先輩より大塩さんの思い出話をしていただきました。とりわけ普段OB会には出席されない秋吉恵介先生(7回生 秋吉医院理事長 快速ウイング)は大塩さんとのお別れの会ならば参加するとのことで、印象的な話をしてくれました。また後輩を代表して熊本から駆けつけてくれた渡邊 健先生(9回生 わたなべ眼科クリニック理事長 ボックスのスーパースター)からもスピーチしてもらいました。

しばらく会食を楽しんだ後、最後にご長男の毅(つよし)先生(福大眼科)より、会に対するお礼の挨拶をいただきました。集合写真の後、私の音頭でラグビー部歌福大節を天国の大塩さんに届くよう全員で声高らかに歌って会を締めくりました。

大塩さんは事ラグビーに関しては妥協を許さない厳しいお方でしたが、グラウンドを離れるといつも明るく人を笑わせ、多くの友人、後輩が先生を取り囲む楽しい先輩でありました。

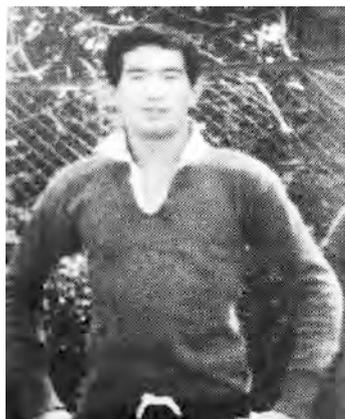
先生とは私が大学1年次に一緒にプレーさせていただきました。ボックスプレーヤーとして類い稀なる運動神経でご活躍されました。卒業後は久留米市で眼科クリニックを開業されましたが、患者さんは想像を超える多さで、市内の開業医では最も多い手術件数を持つクリニックでした。同じ久留米市で開業していたこともあり、久留米医師会、福大医学部同窓会筑後支部でよく顔を合わせていました。いつも大塩さんのお姿を見つけますと真っ先にビールをつぎに行ったものです。

平成16年TIAで市内の聖マリア病院に入院されました。お見舞いに行った際「先日朝長教授がわざわざアンギオを診に来てくれたぞ、手術を勧められた。」とお聞きました。

先生は平成19年以降、片麻痺になっても前向きでラグーマン精神そのもので、日々戦っておられました。学生時代強烈な個性で部員をまとめ、こよなくラグビーを愛された大塩先輩はいつまでも私の心の中に生きています。

どうか安らかに眠りください。

合掌



大学時代の大塩先生
ラグビー部創部 30 周年記念誌より



ご長男・毅先生のご挨拶



集合写真：大塩さんの遺影とともに



大塩さんの同期入部の先生方（1 回生）
左より二見喜太郎先生、江浦陽一先生、高木忠博先生



福岡大学医学部同窓会諸表

令和4年度収入支出決算

区分	科 目	R4 年度予算	R4 年度決算	R3 決算予算比較	R3 決 算 内 訳
収 入	繰 越 金	13,787,922	13,787,922	0	
	会 費 収 入	30,640,000	33,908,816	▲ 3,268,816	入会費：2,186,476 学年会費：4,748,336 年会費：26,778,567 準年会費：195,437
	保険工物件広告料	250,000	250,000	0	
	雑 収 入	20,000	42	42	預金利息
	預り金収入	40,000	79,627	▲ 39,627	給与源泉徴収
	仮 入 金	0	0	0	
	合 計	44,737,922	48,026,407	▲ 3,288,485	
支 出	給 与	3,330,000	3,076,920	253,080	
	旅 費	2,400,000	1,373,620	1,026,380	役員旅費：475,640 評議員会：224,630 通勤旅費：171,200 その他：502,150
	事務用品費	400,000	325,352	74,648	
	印 刷 費	3,860,000	2,801,304	1,058,696	会報：2,583,313 封筒 109,450 その他：108,541
	通信運搬費	2,100,000	1,523,476	576,524	電信電話：66,686 会報：952,548 切手葉書：105,370 その他：398,872
	設備工事費	400,000	303,600	96,400	ホームページ更新料
	什器備品費	240,000	270,566	▲ 30,566	パソコン、ハードディスク
	事 業 費	21,384,000	15,242,706	6,141,294	総会費：1,827,925 研究奨励賞：1,931,806 在外研・修援助金：400,000 学生会員支援：2,804,375 国試対策費：676,699 支部活動費：2,330,111 大学院生への援助：720,000 M1・M5 白衣贈与：1,664,100 慶弔費：1,335,010 学会寄付：1,250,000 縁結び支援費：89,540 WEB サイト：56,540 学生医学教育貢献表彰：156,600
	会 議 費	2,800,000	867,394	1,932,606	理事会、会長懇話会：277,223 評議員会：440,740 各種会議他：149,431
	公 租 公 課	10,000		10,000	収入印紙
		71,000	71,000	0	福岡県民税：21,000 福岡市民税：50,000
	雑 費	2,033,000	1,275,233	757,767	税理士報酬：33,000 業務用グッズ：173,770 慶弔費：330,300 その他：738,163
	預り金支出	40,000	78,157	▲ 38,157	給与源泉徴収税
	引当金積立	3,000,000	0	3,000,000	
借入金返却	0	0	0		
予 備 費	2,669,922	0	2,669,922		
合 計	44,737,922	27,209,328	17,528,594		
収 支 差 引	0	20,817,079	▲ 20,817,079		

令和4年度残金処分

残金額（収支差引額）	20,817,079 円
奨学金積立金積立	0 円
刊行物積立金積立	0 円
事業積立金積立	7,000,000 円
次年度繰越	13,787,079 円

令和4年度特別会計決算

	事業積立金	奨学金積立金	刊行物積立金	合 計
前年度より繰越	87,273,543	14,706,641	13,394,861	115,375,045
本年度増加額	1,300,000	122,500	3,000,000	4,422,500
本年度受取利息	461			
本年度減少額	▲ 1,251,045		▲ 513,171	▲ 1,764,216
本年度未決算額	87,322,959	14,829,141	15,881,690	118,033,790

令和4年度事業報告と令和5年度事業計画

項目	年度		令和5年度事業計画	
	令和4年度事業計画 予算(A)	令和4年度事業報告 実績(B)	令和5年度事業計画 予算(C)	C-A
① 会報の発行	3,807,850	3,535,861	3,831,350	23,500
② 総会の開催	2,500,000	1,827,925	2,500,000	0
③ 支部活動援助	2,000,000	2,330,111	2,000,000	0
④ 研究奨励賞	2,000,000	1,931,806	2,000,000	0
⑤ 在外研究援助	2,000,000	400,000	2,000,000	0
⑥ 学生会員支援	3,600,000	2,804,775	3,600,000	0
⑦ 白衣贈与	2,000,000	1,664,100	2,000,000	0
⑧ 国試対策費	2,000,000	676,699	2,000,000	0
⑨ 支部祝儀贈与	230,000	0	230,000	0
⑩ 学生行事援助	400,000	0	400,000	0
⑪ 学会寄付	1,500,000	1,250,000	1,500,000	0
⑫ 慶弔贈与	300,000	1,335,010	300,000	0
⑬ グッズ作製	0	0	0	0
⑭ 会員名簿発行	5,400,000	12,621	5,400,000	0
⑮ パニックマニュアル発行	0	500,000	0	0
⑯ 奨学金貸与	0	0	0	0
⑰ 縁結び	500,000	89,540	500,000	0
⑱ 保険コンサルティング	30,000	0	30,000	0
⑲ ホームページ	24,000	56,540	24,000	0
⑳ 大学院生援助	1,200,000	720,000	1,200,000	0
㉑ 学生医学教育貢献者賞		156,600	200,000	200,000
合計	29,491,850	19,291,588	29,715,350	223,500

令和5年度収入支出予算

区分	科目	R4 予算	R5 予算	R5 年度予算摘要	R4 予算 - R5 予算
収入	繰越金	13,787,922	13,817,079		▲ 29,157
	会費収入	30,640,000	30,940,000	入会費：49,580×110人×0.80 ≒ 4,360,000 学年会費：9,797×550人×0.88 ≒ 4,740,000 年会費：9,797×3,370人×0.66 ≒ 21,700,000 準年会費：4,797×34人×0.86 ≒ 140,000	▲ 300,000
	保険コンサルティング広告料	250,000	250,000		0
	雑収入	20,000	20,000		0
	預り金収入	40,000	40,000		0
	仮入金				0
	合計	44,737,922	45,067,079		▲ 329,157
支出	給与	3,330,000	3,330,000	パート1名、短期パート1名	0
	旅費	2,400,000	2,400,000	役員旅費：600,000 評議員会：600,000 私大連絡会：500,000 通勤費：200,000円 その他：500,000	0
	事務用品費	400,000	400,000		0
	印刷費	3,860,000	3,960,000	会報：3,300,000 封筒：500,000 その他：160,000	▲ 100,000
	通信運搬費	2,100,000	2,200,000	電信電話：100,000 会報：1,300,000 切手葉書代：300,000 その他：500,000	▲ 100,000
	設備工事費	400,000	400,000	維持契約費	0
	什器備品費	240,000	240,000		0
	事業費	21,384,000	21,384,000	総会費：2,500,000 研究奨励賞：2,000,000 在外研修援助金：2,000,000 学生会員支援費：3,600,000 国試対策費：2,000,000 学生行事援助費：400,000 支部活動費：2,100,000 支部祝儀：230,000 M1, M5 白衣贈与費：2,000,000 大学院生援助：1,200,000 慶弔費：300,000 学会寄付：1,500,000 縁結び (WEB サイトサーバー費含む)：500,000 保険コンサルティング：30,000 WEB サイトサーバー費：24,000 事業予備費：1,000,000	0
	会議費	2,800,000	2,800,000	理事会・会長懇話会：1,200,000 評議員会：800,000 各種委員会：300,000 その他：500,000	0
	租税公課	81,000	81,000	法人県市民税：71,000 収入印紙：10,000	0
	雑費	2,033,000	2,033,000	税理士報酬：33,000 渉外費：500,000 慶弔費：500,000 その他：1,000,000	0
	預り金支出	40,000	40,000		0
	引当金積立	3,000,000	3,000,000		0
借入金返却				0	
予備費	2,669,922	2,799,079		▲ 129,157	
合計	44,737,922	45,067,079		▲ 329,157	
収支差引	-	-		0	

医局長・医長名簿 (○内の数字は福大医学部卒業回)
(令和5年10月現在)

	医局長	病棟医長	外来医長
[福岡大学病院]			
腫瘍・血液・感染症内科	佐々木 秀法	中島 勇太 ③①	茂木 愛 ②⑤
内分泌・糖尿病内科	高士 祐一	牟田 芳実 ③④	横溝 久
循環器内科	杉原 充 ②④	平田 哲夫	加藤 悠太 ③③
消化器内科	高田 和英 ②⑤	福永 篤志 ③⑩	久能 宣昭 ③②
呼吸器内科	海老 規之	濱田 直樹	井上 博之
腎臓・膠原病内科	伊藤 健二 ②⑤	多田 和弘	氷室 尚子
血液浄化療法センター		多田 和弘	
脳神経内科	藤岡 伸助 ②⑥	三嶋 崇靖 ③①	合馬 慎二 ②③
精神神経科	飯田 仁志 ③②	畑中 聡仁	原田 康平
〃 (ディケア)			吉村 裕太
小児科	瀬戸上 貴資 ②⑥	久保田 慧 ③⑤	伊東 和俊 ③⑩
消化器外科	梶原 正俊	中島 亮	中島 亮
呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	宮原 聡	徳石 恵太	中島 裕康
整形外科	田中 潤	瀬尾 哉	塩川 晃章 ②⑨
形成外科	小柳 俊彰	前山 徹	立道 早佳
脳神経外科	小林 広昌 ③②	河野 大 ③⑥	田中 秀明
心臓血管外科	林田 好生 ②⑩	寺谷 裕充 ③①	古井 雅人
皮膚科	清水 裕毅 ③⑥	内藤 玲子	佐藤 絵美 ③⑩
泌尿器外科	松崎 洋吏 ②⑦	郡家 直敬	岡部 雄
産婦人科	倉員 正光	井植 大介 (産科)	清島 千尋 (産科)
〃		吉川 賢一 ③⑥ (婦人科)	清島 千尋 (婦人科)
眼科	原田 一宏	上野 智弘 ③④	川村 朋子
耳鼻咽喉科	妻鳥 敬一郎 ③③	打田 義則 ③④	前原 宏基 ③⑥
放射線科	高山 幸久	赤井 智春 ②⑦	肥田 浩亮
麻酔科	三股 亮介 ③②	平井 規雅	柴田 志保 ②⑥
歯科口腔外科	瀬戸 美夏	吉野 綾	喜多 涼介
病理部	上杉 憲子		
臨床検査部・輸血部	高田 耕平		
救命救急センター	仲村 佳彦 ②⑦	森本 紳一 ③⑤	
総合周産期母子医療センター		川野 裕康 ③⑤ (新生児部門)	
〃		小幡 聡 (3階南病棟)	
総合診療部	坂本 篤彦	鈴山 裕貴 ③④	野下 育真
東洋医学診療部			
[福岡大学筑紫病院]			
筑紫病院(総医局長)	井上 律郎 ②⑨	(脳神経外科)	
循環器内科	池 周而 ②④	高宮 陽介 ②⑥	松岡 優太 ③⑤
内分泌・糖尿病内科	阿部 一朗	工藤 忠睦 ②③	小林 邦久
呼吸器内科	串間 尚子	木下 義晃	吉田 祐士 ③①
消化器内科	小野 陽一郎 ②⑥	武田 輝之 ③①	八坂 達尚 ③②
脳神経内科	津川 潤	津川 潤	津川 潤
小児科	平井 貴彦 ③⑥	藤井 裕子	塩手 仁也 ③⑥
外科	宮坂 義浩	柴田 亮輔 ②⑥	東 大二郎 ①⑤
呼吸器・乳腺外科	吉田 康浩 ②④	森下 麻理奈 ④①	吉田 康浩 ②④
整形外科	野村 智洋 ②⑦	小阪 英智 ③④	蓑川 創 ③⑩
脳神経外科	井上 律郎 ②⑨	坂本 王哉 ②⑧	新居 浩平 ②④
泌尿器科	宮島 茂郎 ②②	宮島 茂郎 ②②	王丸 泰成 ③①
眼科	森 雄二郎	森 雄二郎	下川 亜沙美
耳鼻いんこう科	佐藤 晋 ③⑩	佐藤 晋 ③⑩	木庭 忠士
放射線科	山本 良太郎 ②②		
救急科	松尾 邦浩 ⑧		
麻酔科	若崎 るみ枝		
病理部	田 邊 寛 ②②		

教育職員人事（講師以上）

（○内の数字は福大医学部卒業回）[令和 5.4.2～令和 5.10.1]

区分	所属	資格	氏名	発令日	摘要
昇格	腎臓・膠原病内科学	准教授	伊藤建二 ㊟	5.10.1	
	衛生・公衆衛生学	准教授	前田俊樹 ㊟	5.10.1	
	小児科	准教授	ハツ賀秀一	5.10.1	
	産科婦人科学	講師（4-7）	清島千尋	5.10.1	
	総合診療部	講師（4-7）	坂本篤彦	5.10.1	

事務局からのご連絡

●第22期会長立候補について

来年は役員改選の年になります。

4月の評議員会にて「第22期会長の推薦」を行い総会にて決定いたします。

つきましては、会長へ立候補される方を募集いたします。立候補者は慣例として現役員（第21期役員）であることとしていましたが、現規約において制限についての記載がないことから広く卒業生である正会員の先生方に募集を呼びかけることになりました。

書式は問いません。お名前、卒業回、勤務先、立候補についての所信を明記し令和6年2月末日（必着）で事務局まで郵送下さい。学内の先生方は学内便をご利用下さい。

会報原稿募集

会報への寄稿を募集

締め切り：春号 3月末 秋号9月末

編 集 後 記

今年は様々な会が、三年ぶりや四年ぶりに通常開催される様になりました。しかし、電車に乗るとマスクをしている人としていない人が混在しており、COVID-19やインフルエンザなどに対する個々人の感覚の違いを垣間見ることができ、“面白いな～”と眺めています。その様な中で、第42回烏帽子会総会や新入生歓迎会などが通常通りに行われたことは喜ばしいことと考えております。

2024年5月に福岡大学病院新本館が竣工予定となっております。今会報の裏面に少しずつ完成に向かっていく写真が掲載されております。現在の病棟で育てて頂いた者としては少し淋しい気持ちにもなりますが、50周年を契機にさらに福岡大学病院が発展していくことを心から期待しております。

広報担当理事 下地 栄壮（20回生）



「福岡大学病院新本館（仮称）」 2024年5月竣工予定



令和5年 6月13日撮影



令和5年 7月10日撮影



大型台風直撃のため
クレーンが横に
収められていた

令和5年 8月9日撮影



令和5年 9月11日撮影



令和5年 10月11日撮影



令和5年 11月16日撮影



医学部新館 5階から撮影

外観お目見えです

烏帽子会会報第75号

発行日 令和5年12月15日
発行人 小玉 正太
編集人 小玉 正太

発行所 〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1
福岡大学医学部同窓会
電話：092-865-6353（直通）
092-801-1011（代表） 内線 [3032]
FAX：092-865-9484
E-mail: maileboshi@gmail.com

印刷所 ロータリー印刷株式会社
福岡市中央区港2-8-9
電話：092-711-7741
FAX：092-711-7901